**令和２年度第１回練馬区食育推進ネットワーク会議(第７期)　会議要録**

１　開催日時

　　令和２年７月30日(木)午後２時00分～２時30分

２　開催場所

　　練馬区役所東庁舎７階702会議室

３　出席者

　　委員長　　健康部長

　　副委員長　健康部健康推進課長

委員　　　阿出川委員、神谷委員、岸委員、堀委員、前田委員、井上委員、岡野委員、石井委員、高野委員

　　幹事　　　大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係、清掃リサイクル課清掃事業係長、保育課保育所給食担当係長、生活衛生課食品衛生担当係長、健康推進課歯科保健担当係長

　事務局職員　健康推進課栄養食育係２名、北保健相談所栄養担当係長、石神井保健相談所栄養担当係長、豊玉保健相談所栄養担当係、

　欠席委員　白鳥委員、谷内委員、戸田委員、白石委員、北村委員

４　公開の可否　公開

５　傍聴者数　　０名

６　配付資料

　　資料１―１　　練馬区食育推進ネットワーク会議（第７期）委員名簿

　　資料１―２　　練馬区食育推進ネットワーク会議（第７期）幹事名簿

　　資料２　　　　練馬区食育推進ネットワーク会議第７期１年目会議日程、検討内容

　　資料３－１　　令和元年度食育推進ボランティア活動報告

資料３－２　　第７期１年目部会活動報告（若い世代部会）

　　資料４－１　　第７期１年目部会活動報告（ねりまの食育応援店部会）

資料４－２　　令和元年度ねりまの食育応援店登録店一覧

　　資料５　　　　練馬区健康づくりサポートプラン（練馬区食育推進計画抜粋）

　　資料６－１　　「ちゃんとごはん」オンライン講座の検討について（案）

　　資料６－２　　食育実践ハンドブック「野菜とれとれ！１日５とれとれ！（季節版）」作成案

　　資料７　　　　練馬区食育推進ネットワーク会議第７期２年目スケジュール案

７　会議要録

 (1) 開会

（委員長）　令和２年度第１回練馬区食育推進ネットワーク会議第７期を開会させていただきます。本日、ご多忙のところご出席いただき誠にありがとうございます。まず、本日の欠席者ですが、谷口委員、白鳥委員、戸田委員から予めご連絡をいただいております。そのほかの方については順次お見えになると思います。あと幹事では、健康推進課健康づくり係長の徳永が欠席です。申し訳ありません。それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。では案件１）新規委員および幹事の紹介をさせていただきます。

資料１－１・２の説明。

（委員長）　新たなメンバーも加わりまして、このメンバーで会議を進めさせていただければと思いますのでぜひよろしくお願いいたします。

続いて、委員長、副委員長挨拶ということになってございます。引き続き委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、食育事業の展開がちょっと難しいところもあります。しかし、いろいろ工夫をしながら区民の健康に一つでも資するような色々な話合いや事業が開催出来ればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。それでは副委員長もお願いいたします。

（副委員長　はい。この４月から健康推進課長となりまして、この副委員長の方も引き継ぎました。食育に関しては、練馬区健康づくりサポートプランの中で食育推進計画も入っております。その中にも食は「生きる力」の基本ということになっております。私も食べることは大好きなので、食育について皆さんと協力しながら盛り上げていければいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

（委員長）　それでは続いて、案件の３　第７期１年目の活動報告ということで、事務局より説明をお願いします。

（事務局）　資料２、資料３-１・２、資料４-１・２の説明

（委員長）　ありがとうございました。今、昨年の活動の内容、結果等について報告をしてもらいましたが、何か各委員の方々からご意見等があればお願いします。何かございますか。昨年の実績の説明なので何かあればまたその時に言っていただくとして、次の案件、練馬区健康づくりサポートプランについての説明をお願いします。

（事務局）　資料５の説明

（委員長）　はい。素案の段階で昨年度の会議の時にも少しご説明をさせていただいたかなと思っています。区の健康づくりの計画で、柱が６つあり、その６番目の柱が食育の項目だけで作られていると言う作りです。健康づくりの中でも大事なパーツでございます。いくつか主な取組みということで掲載されていますけれど、この計画を事業として進めていくために、この食育推進ネットワーク会議などが、推進のエンジンになるわけです。今後の計画の進行に当たっても、会議の方でいろいろご相談させていただきながら進めるようになると思います。この計画の関係でご質問とかありますか。いかがですか。それでは続けて、案件の５，６今年度の第７期２年目の活動について、食育推進ネットワーク会議の日程等について、事務局の方から説明をお願いします。

（事務局）　資料６－１・２、資料７の説明

（委員長）　はい。ありがとうございました。今のご時世だと、集団でマスクを外して何かを食べるっていうのが憚れる状況なので、今年は事業展開がなかなか難しいなっていうのがあります。食育のオンライン講座を開催し、家庭とZoomで繋いでというようなことをトライしたりするわけですけれど、まだ参加者が芳しくないような感じですかね。試行をしてみて、いろいろ工夫をしたりしながら進めていければですが、皆さんからもこういうことを家庭に配信すればいいじゃないかとか、そんなことも含めて感想とかご意見があればお伺いしたい。どうですか？動画配信なんかも含めて、いいアイディアはありますか？

（委員）　　動画に関しては今の時代有効手段になると思いますが、動画を撮った後の著作権の問題とか映像管理の問題が非常に問題になっています。私も社労士の先生と相談しながらやっているので、特に行政となればそれは慎重になるかと。

（委員長）　そうですね。ありがとうございます。いろいろと課題があったりするのでしょうが、双方向のオンラインでやれれば一番良いのだと思いますけどね。それぞれの家庭がそこまで対応してくれるのかどうかって言うのもわからないとこがあるので。他にはご意見やご感想はございますか。

（委員）　　「ちゃんとごはん」をZoomでやるようになると、今までは子どもを児童館に行かせたら、保護者の役割は済んでいたのですが、親が絶対介入しないといけないと言うのは、難しいかなと思います。どこかの家で２、３人の子どもを集めて一緒にやろうみたいな感じが可能だったらいいなあと思うんですけど、親子で来るのはちょっと難しいですかね。

（委員長）　そうですね。ボランティアさんの代わりにそれぞれ保護者がそこについてないと、お子さん一人でというわけにはやっぱりいかないですよね。

（委員）　　Zoomの設定とかについても、子どもだけでは。

（委員長）　なかなか難しいですね。そういう意味では、保護者の方にもご協力をしていただいて、それがまた家族円満に繋がるというか、そういうことになれば本当はいいのかも知れないですね。

（委員）　　そうですね。地域のつながりも。

（委員長）　他にございませんか。オンライン版「ちゃんとごはん」のチラシを配っていただいたり、ご協力いただいたようですが。

（委員）　　配ってはいますけど、どういう申し込み状況なのかが存じ上げないので。

（事務局）　配っていただいたチラシを見てお申込みされたと思われる方は、まだいらっしゃいません。

（委員）　　配布することはできるのですが、その後追いきれないので申し訳ないと思って。

（委員長）　そうですよね。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

（委員）　　オンライン「ちゃんとごはん」だと、お家のキッチンを見られる拒否感っていうのもあるのかなと思いました。

（委員長）　そういう事もありますよね。子どもは関係なくても、親はそうですね。

（委員）　　見られるのがデリケートな所ですよね。今はこの方法しかないですか。

（委員長）　そうですね。なかなか難しいですよね。食べるものを皆で作ると、それは食べたくなりますしね。大人数での会食はするなと言われたりしていますし。他にご意見ありますか。

（委員）　　私、学童クラブをいくつか運営しているのですけれど、今、保護者が両親そろってリモートで、子どもも危険なので学童に寄こさないで自宅で見ている方がいます。けれど子どもを見ているだけ、安否だけの確認をしているとなっている。だから保護者がリモートをしている方などは、子どもがZoomで「ちゃんとごはん」に参加するっていうのは喜ぶかなと思っています。私チラシをもらって帰ろうかなと思っているので、よろしくお願いします。本当に子どもはZoomなどを操作することはもう長けているのですよ。親が毎日リモートでやっているのを見ているので。ですから、子どもが料理体験できるというは、私の関係の保護者は喜ぶ人が多いかなというように思いました。チラシは人数分配ります。

（委員長）　じゃあぜひ宣伝してもらえますか。ありがとうございます。他、何かありますか。皆さんどうですか。では、また続きは部会もありますのでそちらでお願いします。委員の皆さんからご紹介したい案件とかあればお伺いしますけど、大丈夫ですか。

それでは、全体会議はここまでということで、次回の会議は９月を開催予定として、委員の皆様には日程や開催方法を含めてご案内をさせていただきたいと思います。引き続き委員の皆様は、部会会議でのご検討をよろしくお願いいたします。一回全体の会議は閉じさせていただきます。ありがとうございました。また今後ともどうぞよろしくお願いいたします。